



高水地協ニュース

〒383-0025 中野市三好町 1-1-19 Tel.0269-23-0505 Fax.0269-38-0575

連 合 長 野
高水地域協議会

○ 発行責任者 荻原 公和
○ 編集責任者 岩本 淳一

衆議院解散・総選挙へ突入！！

9月下旬頃より、急激に衆議院の解散・総選挙の動きが高まり、9月28日の臨時国会冒頭で衆議院が解散され、10月10日公示・10月22日投票による総選挙に突入しました。

今号では、連合長野の根橋事務局長の発信文書を中心に、各単組における支援活動の要請について掲載致します。



<10月3日発信>

第48回衆議院選挙は10月10日公示・22日投開票の日程で執行されます。支援政党である民進党は、9月28日両院議員総会を開き、小池百合子東京都知事が代表となって結党した希望の党に事実上合流する方針を決定した以降、小池代表率いる希望の党と枝野氏が旗揚げした立憲民主党、無所属の3つに分裂。選挙戦はこの2つの勢力と自民・公明の与党側で争う構図となっています。

連合は、昨年12月22日の第15回中央執行委員会で「第48回衆議院選挙の基本方針」を、その上で本年9月27日の第26回中央執行委員会で「第48回衆議院選挙の対応方針」を確認してきましたが、新たな政治状況が生まれた中、10月5日に追加的な対応方針を確認する予定です。

連合長野は、昨年10月17日の民進党長野県連との定例懇談会にて、第24回参議院選挙の総括を踏まえた「第48回衆議院選挙に向けた対応」として、各総支部長が民進党の地力を発揮した行動に注力することなどを要請し、「個別の候補者推薦の取り扱いはず、5選挙区一括の申請のみを受け付ける」ことを相互で確認、早期の具体行動と候補者選定を求めています。

こうした、この間の経過から次選挙における連合長

長野の対応について9月29日の緊急政治センター幹事会、緊急三役会議にて確認しました。

具体的な候補者推薦については、10月5日に決定される「連合本部対応方針（その2）」に沿い、同日18時より開催する「連合長野臨時執行委員会」にて確認を行う予定です。

混沌とした情勢になっていますが、連合・連合長野がめざす「働くことを軸とする安心社会の実現」に向け、日常的に連携しともに闘ってきた仲間の支援に最大限注力する取り組み方針を提起する予定ですので、各構成組織・地域協議会のご意見をお寄せいただくようお願いいたします。お忙しいところ恐縮ですが、ご理解ご協力をお願い致します。

<10月5日発信>

10月3日にご案内いたしました日程に基づき、本日連合本部にて決定した第48回衆議院選挙対応方針（その2）を踏まえ、本日の緊急政治センター幹事会、臨時執行委員会にて、連合長野の対応方針と推薦候補者について提起しました。

方針の考え方のポイントは、

○連合は、今次総選挙に向けた対応として、希望の



中高後援会出陣式で決意表明を行う篠原候補者

党との事実上の合流を決めた民進党の決断は尊重する。ただし、連合組織内候補をはじめ、複数の連合推薦候補者が希望の党の公認とならない可能性があることは極めて残念である。

○希望の党との政策協定については、現時点で基本政策・理念をすり合わせるのには諸情勢を踏まえて困難と判断し、今次総選挙における締結は見送らざるを得ない。ただし、民進党公認であった推薦候補者については、地方連合会は個別に政策協定を締結する。その上で、連合が掲げる政策・制度要求については、今次総選挙における推薦候補者を通じて実現をはかる。

○なお、比例代表については、推薦候補者の当選を勝ち取るために必要な方策を、地域の状況等を踏まえて、連合本部と各構成組織・地方連合会とで十分に連携をとりながら柔軟な対応をはかる。

○連合は、これまでともに闘ってきた仲間の支援に最大限注力し、推薦候補者の全員当選をめざして全力を尽くす。その上で、すでに推薦決定している候補者の取り扱い◇連合がこれまで確認してきた候補者推薦はすべて継続する。〈中略〉

今回の選挙は、政党との政策協定を締結せず、これまでともに闘ってきた仲間の支援に最大限注力する取り組みとなります。私たちは足もとにおいて、予測不可能な政治の動き、予測もしなかったことが具体的な事象として目の前に現れるといった状況を目の当たりにしています。

「連合・構成組織・地域協議会が応援している候補だから政策・理念はしっかりしている」ことを地域に浮かび上がらせるべく、前向きな危機感を奮い立たせて、取り組みを進めていきましょう。

連合長野は 1 区『しのはら孝』候補者を推薦



連合長野は前述した状況を念頭に、長野県 1 区は現職の「しのはら孝」候補予定者の推薦を決定し、当該地協に対して、地協と構成組織の総力により「しのはら孝必勝」に向けた取り組みの推進を要請しました。

高水地協は、こうした指示・要請に基づいて構成組合員へ長野県 1 区：現職「しのはら孝」候補予定者の必勝に向けた支持者拡大と「投票所に行って意思表示する」という、組合員自らの投票行動をお願いするところであります。

加えて、しのはら議員は無所属という厳しい道を選択しましたが、「自公連立政権の暴走を食い止める」という重要な役割を担う期待される人物でもあることから、再び国政の場に送らなければなりません。そのためには、皆さん一人ひとりの投票に込めた意思表示となる「しのはら孝」候補予定者へのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

みんなで「選挙に行こう！」を呼び掛け合いましょう。

「棄権や白紙投票で抗議」は逆効果

棄権や白紙投票は、事実上の「政治に不満がない」という意思表示。無条件の白紙委任と同じ効果しか及ぼしません。それが日本の選挙制度なのです。そもそも、棄権や白紙投票は候補者の落選に全く影響を与えず、選挙権は「権利」ですから、行使されない権利は無視されるだけです。政治に私たちの思いを伝えるには投票という方法でしかありません。今の政治への怒りを持って、一票を託すに相応しい政治家「しのはら孝」を育てていく力に変えていきましょう。そして、投票の後も不断に政治に関わっていく、それが「国民主権」の正しいあり方です。

自分の一票では何も変わらない？

そんなことはありません。「自分一人、投票してもしなくても、世の中何も変わらない」という人もいます。確かに何万、何十万、何百万人中の一人ということを考えれば、そうかも知れませんが、衆院選の小選挙区制は「死に票」が多く、投票意欲を削がれることがしばしばです。しかし、ちょっと視点を変えて考えて下さい。一人の「選挙に行こう」「最善の選択をしよう」という意欲は、それが「君も行こう」「貴方も行こう」という呼びかけを伴った時、どれほどの波紋となって広がっていくのでしょうか。

一人黙り込んでいるだけなら何も変わらない

だからこそ、周囲の人々と「選挙って大切だね」と語り合うことで、そのメッセージが人から人へと伝播して、最終的には何十人何百人、もしかしたら何千人、何万人の心に届いていく可能性だってある

のです。ましてや、今はネット時代。一昔前なら著名人しか持ち得なかった影響力を、誰もが発揮していける時代です。一人の力も決して捨てたものではありません。

みんなで投票を呼び掛け合おう

「投票に行こう」という呼びかけは、選挙運動には当たりませんから、公職選挙法の規制を受けません。誰でも、いつ（選挙期間前・期間中・投票当日）でも、どんな方法（電話、手紙、ブログや SNS、Twitter など）でも、自由に行うことができます。「一緒に行

こう」と誘い合ったりすることも、まったく自由です。どんどん呼びかけを広げて、少なくとも自分の手の届く範囲の人々の投票率は「100%」をめざしましょう。

一票にみんなの願いを乗せて

まだ選挙権を持たない子供たち、言葉は話さなくても大切な家族の一員である動物たち、そして自然界のたくさんの生き物たち。私たちの一票にはそうした命の未来も託されています。そんなみんなの願いも乗せて、貴方の清き一票を必ず行使して下さい。

しのはら孝 候補者のミニ集会（日程）

下表の日程で「しのはら孝」ミニ集会が開催されます。平日の開催ですが、勤務終了後にお近くの会場へご参集下さい。なお、10 月 16 日(月)の中野市松川区民会館の集会は、北信地連単組の重点会場となりますので、中野市所在単組代表者および地連役員はできる限りのご参集をお願い致します。

10月11日(水) 18:30 飯山 羽広山公民館 19:30 栄村 小滝公民館 10月12日(木) 18:30 須坂 シルキーホール 19:30 須坂 小島町公会堂 10月13日(金) 18:30 木島平 中村区民会館 19:30 飯山 天神堂集荷センター 10月14日(土) 11:30 長野 篠ノ井公民館 西寺尾分館 13:00 長野 浅川公民館 14:00 長野 若槻公民館 15:00 長野 上駒沢会館 17:00 長野 三輪公民館 19:00 長野 城山公民館 第二地区分館	10月15日(日) 13:00 長野 丹波島第二公民館 14:00 長野 更北公民館 稲里分館 15:00 長野 松代 柳町公民館 16:00 長野 若穂 塚本公民館 17:00 長野 更北公民館 小島田分館 18:00 長野 安茂里公民館 19:00 長野 篠ノ井公民館 19:30 長野 更北公民館 真島分館 10月16日(月) 17:00 中野 松川区民会館 18:00 中野 新保構造改善センター 19:00 中野 JA中野市 日野事業所 2F 10月17日(火) 18:30 飯山 常盤地区活性化センター 19:30 野沢温泉 野沢温泉村コミュニティーセンター	10月18日(水) 17:00 山ノ内 菅集落センター 18:00 山ノ内 湯の滝組公会堂 19:00 山ノ内 本郷区民会館 10月19日(木) 17:00 高山 荻久保公会堂 18:00 高山 松原公会堂 19:00 小布施 JA小布施支所 2F 10月20日(金) 17:00 中野 長元坊団地集会所 18:00 中野 日和ヶ丘集会所 19:00 中野 替佐区公民館 10月21日(土) 11:00 長野 五分一公民館 13:00 長野 川中島公民館
--	---	---

おかしくないですか？ 国民の7割以上が反対している解散・総選挙——。
大義のない、誰のための衆議院議員選挙なんですか。



生活者・労働者の立場に立つ、一票を託すに相応しい政治家

衆議院議員候補者『しのはら 孝』



中野市において篠原孝候補者の出陣式を行う

早朝、長野市での篠原孝出陣式において、候補者の第一声（決意表明）を行い、市内遊説を行いながら中野市に移動し、午後 1 時より中高地区後援会による出陣式が開催され、早朝から公営掲示板のポスター貼りの作業を行っていた北信地連役員も集合し、篠原孝候補者の決意表明を拝聴しました。

小林東一郎県議ほか、来賓の激励挨拶のあと縁台に立った篠原孝候補者は、「今回の解散・総選挙はもたつく民進党を叩き、小池新党（希望の党）の立ち上が

る前を狙った全く大義なき解散。安倍総理は消費税の使い途を問うと後付けの理由を述べているが、選挙戦の争点は強引な安倍政権を継続させるか否かを決める、極めて重要な選挙である」とし、「無所属での出馬となり、これまでに増して大変厳しい選挙戦となるが、後援会を筆頭に多くの皆様のご支持とご協力によって 6 期目の当選を勝ち取りたい」と述べ、集まった支援者から激励の大きな拍手が沸き起こりました。



支持者と話す篠原孝候補者



激励挨拶に立つ小林東一郎県議



必勝達磨の目入れ

平和の集い『満蒙開拓平和記念館』見学ツアーを実施

地協の平和集会は、昨年に引き続いて阿智村駒場にある満蒙開拓平和記念館を見学しました。

実施日：2017 年 9 月 9 日（土） 7:30 飯山出発

参加者：27 名

高水地協は、連合の「平和運動強化期間」の取組みの一環として 5 回目となる「満蒙開拓平和記念館見学」を実施しました。満蒙開拓平和記念館は、長野県下伊那郡阿智村駒場にある博物館です。旧満州（中国東北部）に入植した満蒙開拓団の苦難の歴史を伝え、平和の尊さを次世代に語り継ぐために設立された、満州移民史を扱う日本で唯一の民間施設です。昨年 11 月には、私的な旅行で天皇、皇后両陛下がこの記念館を訪れ、現地での体験を語り継いでいる 80～90 代の引き揚げ者らと懇談されています。

見学では、満蒙開拓の DVD を鑑賞したのち、記念館内の展示物を見ながらボランティアガイドさんより、開拓の歴史や生活の様子などの説明をしていただ



きました。戦争による満州侵略、それにより悲惨な人生を送ることとなった方々の話を聞くことができました。昼食は水引の郷山都飯田で信州味噌鍋をいただき、併設されている飯田の伝統工芸、水引博物館を見学しました。満蒙開拓平和記念館に来館したことがない方は、是非一度足を運んでいただきたいと思います。（事務局次長 富沢 一明）

今後の予定

10 月 13 日（金） 19:00～	議員団懇談会	高水地協事務所
10 月 23 日（月） 15:00～	須坂市長と地域労働団体との懇談会	須坂市勤労者研修センター
10 月 27 日（金） 13:00～	連合長野第 29 回定期大会	ホテル国際 21
11 月 18 日（土） 15:00～	高水地協第 6 回定期総会	アップルシティーなかの

高水地協第 6 回定期総会開催については、後日に代議員依頼を含めて通知します。